

報道資料

令和2年10月2日（金）
食と農の振興部 畜産課
須原、高田
ダイヤル 0742-27-7448
内線 3882

野生いのししに対するCSF（豚熱） 経口ワクチンの散布第二回を実施します

野生いのししのCSFの感染拡大を防止し、養豚場での感染リスクの低減を図ることを目的に、野生いのししに対するCSF経口ワクチンの散布について、本年6～7月に奈良県北東部3市村で第一回散布を実施したところです。

今回第二回散布を10月5日から開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

	第一回（実績）	第二回（計画）
散布期間	令和2年6月25日～7月17日	令和2年10月15～16日
回収期間	令和2年6月30日～7月22日	令和2年10月19～20日
散布地域	奈良市（東部地域）、宇陀市、山添村	奈良市（東部地域）

【実施内容】

- ・ 1k㎡あたり散布箇所を1箇所設定し、約10日間の餌付けの後、ワクチンを散布
- ・ 1散布箇所（約200㎡）あたり10カ所に経口ワクチンを2個ずつ埋設
- ・ 経口ワクチンを回収し、いのししによる摂取状況を確認
- ・ いのししを捕獲し、抗体検査を実施して、免疫の獲得状況を確認

【実施主体】

- ・ 奈良県CSF感染拡大防止対策協議会（令和2年4月設立）

【構成員】

- ・ 奈良県（事務局）・奈良市・宇陀市・山添村・一般社団法人 奈良県猟友会
- ・ 一般社団法人 奈良県畜産会・奈良県畜産農業協同組合 養豚事業部

【今後の予定】

- ・ 今年度内にあと3回経口ワクチンを散布
- ・ 散布エリアは周辺地域の野生いのししの感染状況を踏まえてを決定

【報道機関へのお願い】

- ・ CSFウイルスが靴底等に付着することにより外部に持ち出され、拡散するおそれがあることから、現地での取材は自粛いただきますよう、お願いします。
- ・ 天候等によって、散布開始日を変更する場合があります。